

JHL NEWS

No.8

2016年11月7日
●発行●
日本ハンドボールリーグ機構
会長 多田 博
東京都渋谷区神南1-1-1
電話 03-3481-2494

車体、大崎に土！ 4連勝の大同が首位浮上!!

～第41回日本ハンドボールリーグ・第8週～

第41回日本ハンドボールリーグ・第8週は福井などで男子のみ7試合が行われ、ここまで首位争いをリードしてきたトヨタ車体と大崎電気がともに黒星を喫し、車体と琉球コラソン戦に連勝した大同特殊鋼が1位に浮上。2勝をマークした湧永製菓の台頭もあり、上位レースはがぜん混戦模様を呈してきた。次週も愛知などで男子4試合を組まれている中で大同-湧永の好調同士の一戦がハイライト。そのほかも見応えのある好ゲームが予想される。

3日福井の北陸電力-湧永は、池上の先制点で幸先良いスタートを切った北電が、7分以降も藤坂の速攻などで加点してさらに波に乗った。湧永も野村、新名らで追い上げるも、北電の勢いを止めることができず、前半は北電が2点リードしてUターン。後半に入ると稲毛、東江らで猛追する湧永に対し、北電はG K岩永の好セーブや須坂の活躍などで応戦。終盤まで1点を争う白熱した攻防が続いた。最後の1秒までどちらが勝つかわからない展開だったが、湧永が稲毛で勝ち越したリードを守り切り、辛くも1点差で勝利した。

愛知の豊田合成-琉球は、序盤、橋本のポストシュートなどで3連取した合成が5分4-1と先行。対する琉球もすぐさま反撃に転じ、連の速攻などで4点を連取して11分5-4と逆転に成功した。その後は合成が今村、琉球は趙顯章を中心に得点を重ね、前半を12-12の同点で終えた。後半も互角の展開が続く中で、23-23となった19分過ぎに合成に退場者が出ると、琉球はこの機を逃さず5連続得点で23分28-23と混戦を抜け出し、そのまま優位をキープして30-27で逃げ切った。

続く大同-車体は、渡部の3連続得点で好スタートを切った車体が、その後もスピーディなボール回しからの多彩な攻撃でリードを広げ、18分には12-5と7点差をつけた。しかし、ここから大同が猛反撃、東江を中心に6連続得点で1点差まで追い上げて前半を終えた。後半開始27秒、東江のロングシュートで試合を振り出しに戻した大同は、4分には朴重奎の得点でこの試合初となるリードを奪う。すると流れは一気に大同へ。車体のセットオフenseを封じながら着実に得点を積み上げると、24分には26-18として勝利を決定づけた。

5日広島の湧永-大崎は、立ち上がり成田、仁平の連打で好スタートを切った湧永が、中盤以降も今井、成田を中心とした強固なディフェンスで失点を食い止め、14-12と2点リードで前半をターン。後半も湧永が2連取する立ち上がり。さらにG K志水のゴールで勢いづいた湧永は、成田、東江を中心に快調に加点して16分25-18とリード。その後も、野村、原、小賀野らで得点を量産し、終わってみれば33-21と12点もの大差で首位を走っていた大崎に快勝し、貴重な勝点を手にした。

6日沖縄の琉球-大同は、開始2分、地元沖縄出身の大同・東江が個人技から先制。これで流れを呼び寄せた大同は千々波の運動量豊かなトップディフェンスで琉球のパス回しと趙のロングシュートを遮断し、相手のミスを生かしての速攻が効果的に決まり、優勢に試合を進めた。大同は16-11と5点リードで迎えた後半立ち上がり、野村の3連取などで一気に5連続得点を決めると琉球はたまたまタイムアウト。その後、琉球は7人攻撃などで挽回を試みるが、ミスの連発で点差を縮められず、大同が33-24の快勝で単独トップに躍り出た。



㊦首位に浮上した大同・加藤
㊧湧永・稲毛㊨琉球・連

第9週の日程

11月12日(土)	愛知	TGアリーナ(名鉄名古屋本線国府宮駅から名鉄バス「稲沢市役所」)	14:00~	(男)	豊田合成 × トヨタ自動車東日本
	大分	別府市総合体育館(JR日豊本線別府駅徒歩10分)	12:00~	(男)	トヨタ車体 × 北陸電力
			14:15~	(男)	大同特殊鋼 × 湧永製菓
11月13日(日)	沖縄	浦添市民体育館(那覇バスターミナルより21・90・112・88・98バスで「浅野浦」)	14:00~	(男)	琉球コラソン × トヨタ紡織九州

東日本、紡織のチャレンジならず

11月3日高知のトヨタ自動車東日本-大崎電気は、序盤から一進一退の攻防が続いたが、20分過ぎに大崎がスクイプレーを皮切りに3連取で流れをつかんだ。東日本は大崎・GK木村の堅守に苦しみ、大崎が5点リードでUターン。後半、玉井らの3連取で好スタートを切った東日本に対し、大崎は東長濱のロングシュートなどで応戦し、勢いに乗ろうとする東日本を振り切って6勝目をあげた。

5日佐賀のトヨタ紡織九州-トヨタ車体は、紡織がGK岩下のファインセーブや松浦のロングシュートなどで7分5-1と先行、その後も果敢な攻守で14-13と1点リードで前半を終えた。しかし、後半はディフェンスを固めた車体が地力を発揮。速攻や高智のミドルシュートなどで12分21-17と混戦を抜け出すと、中盤以降もパワーとスピードに乗った攻守で紡織を圧倒して勝利した。

◆ 11月3日(木) 男子
福井・北陸電力福井体育館フレア

湧永製菓 4勝2分2敗	26 (11-13 / 15-12)	25	北陸電力 0勝0分9敗
1/2 1/1	K 志水 岩永 K <1/2> 5/7 成野 藤坂 8/11 1/2 1/2 野村 藤切 1/2 2/3 東江 久保 0/0 0/0 佐藤 松島 3/4 5/6 稲毛 須高 3/13 0/0 矢田 高森 0/1 0/0 原小 池上 6/13 3/5 仁平 辻 K <0/1> 0/0 今井 浦野 田口 0/0 1/2 中浦 野田 成 田 2/3 5/8 新小 川原 田 0/0 K 荻 原 2/4 福 田		

2/3	24/37	5(FPP)9	25/49	0/0
0.242	8/33	(シュート阻止率)	9/33	0.273
0.000	0/0	荻原	0/0	0.000
0.242	8/33	(GK)	9/33	0.273
		審判(駒谷・波多野)		観客 451人

◆ 11月3日(木) 男子
愛知・中村スポーツセンター

琉球 コラソン 4勝1分3敗	30 (12-12 / 18-15)	27	豊田合成 5勝0分4敗
1/1	1/1 伊計 藤戸 K <0/2> 2/2 村山 榑原 0/0 3/5 赤野 山塚 野原 1/2 0/1 3/4 福田 上田 0/0 2/4 牧山 武田 4/5 K 田村 津波古 0/1 1/2 松信 石川 藤田 K 1/8 石川 藤田 K 1/2 名嘉 今村 4/5 2/2 4/4 連 樋口 2/8 <1/1> K 石野 岡山 0/0 1/1 水野 館盛 1/2 0/0 三村 出 4/4 8/13 趙顯章 小塩 3/13 佐々木 K <0/1>		

3/3	27/46	2(FPP)8	27/50	0/1
0.400	16/40	田村	1/6	0.167
0.250	1/4	石田	12/34	0.353
0.386	17/44	(GK)	13/40	0.325
		審判(桶家・魚川)		観客 734人

◆ 11月3日(木) 男子
愛知・中村スポーツセンター

大同特殊鋼 6勝1分1敗	27 (11-12 / 16-10)	22	トヨタ車体 6勝0分2敗
<0/1>	K 田中 笠原 1/4 0/0 杉山 熊谷 1/4 2/5 野村 高智 3/3 3/6 藤江 高内 0/0 0/0 石橋 藤本 1/2 1/1 0/1 加藤 藤本 0/0 2/4 久保龍 高木 2/4 1/1 平子 津屋 4/9 K 久保侑 藤 K <0/2> 0/1 池辺 岡元 0/0 1/1 千々波 玉城 1/2 1/1 下村 村前 K 2/2 9/13 東江 崎前 1/3 0/0 上原 渡部 7/9 6/6 朴重奎 斐 K 0/0 杉本 門山 0/0		

2/2	25/39	4(FPP)6	21/40	1/1
0.000	0/0	田中	5/11	0.455
0.447	17/38	久保侑	0/0	0.000
0.447	17/38	(GK)	10/35	0.286
		審判(池淵・檜崎)		観客 1103人

◆ 11月3日(木) 男子
高知・高知県立県民体育館

大崎電気 6勝1分1敗	29 (14-9 / 15-14)	23	トヨタ自動車 東日本 2勝1分5敗
4/7	小澤 永瀬 K 0/3 平子 濱口 6/13 1/2 柴山 山田 6/11 3/7 宮崎 川端 0/4 7/11 東長濱 松本 1/2 2/4 森吉 本 1/2 0/0 小室 玉井 3/9 2/2 馬場 関口 K K 木村 桑前 2/3 3/6 岩永 崎野 2/2 0/0 夏山上 野 2/3 K 村上 堤 0/1 2/2 植垣健 0/1 時村 5/9 信太 0/0 植垣貴		

0/0	29/54	5(FPP)1	23/50	0/0
0.455	15/33	木村	0/0	0.000
0.000	0/5	村上	16/45	0.356
0.395	15/38	(GK)	16/45	0.356
		審判(山地・川内)		観客 1076人

◆ 11月5日(土) 男子
広島・マエダハウジング東区スポーツセンター

湧永製菓 5勝2分2敗	33 (14-12 / 19-9)	21	大崎電気 6勝1分2敗
<0/1>	1/1 志水 東 K 0/1 谷村 小澤 1/3 9/10 成田 平子 1/1 5/7 野村 柴山 0/1 3/5 東江 宮崎 1/7 1/1 小賀野 東長濱 3/4 1/1 2/3 佐藤 森 1/2 2/2 稲毛 小室 0/0 3/5 矢田 木村 K 1/1 原 柳 0/0 4/4 仁平 岩永 5/5 0/1 今井 夏山 0/0 0/0 中浦 植垣健 1/4 2/2 新原 時村 1/1 K 荻原 信太 2/4 0/0 福田 植垣貴 4/5		

0/0	33/43	1(FPP)7	20/37	1/1
0.429	15/35	志水	4/15	0.267
0.000	0/0	荻原	5/27	0.185
0.429	15/35	(GK)	9/42	0.214
		審判(池淵・檜崎)		観客 783人

◆ 11月5日(土) 男子
佐賀・神埼中央公園体育館

トヨタ車体 7勝0分2敗	32 (13-14 / 19-10)	24	トヨタ紡織 九州 1勝0分8敗
2/2	笠原 嶋 0/1 1/4 熊中 田中 2/2 2/2 4/5 高智 上田 0/0 1/2 内海 松浦 6/9 0/1 7/7 藤本 中本 2/2 0/0 藤田 津山 1/2 2/4 高木 荒川 1/2 0/1 6/8 津屋 岩下 K 3/3 岡元 梅本 0/1 2/4 玉城 野田 1/1 1/1 富永 下野 K <2/2> <1/4> K 松村 藤本 3/3 0/0 崎前 鈴木 2/4 1/2 3/4 渡部 八巻 0/4 K 甲斐 鈴木 0/0 0/0 門山 酒井 3/4		

0/2	32/44	4(FPP)4	21/35	3/4
0.400	2/5	松村	7/27	0.259
0.357	10/28	甲斐	0/12	0.000
0.364	12/33	(GK)	7/39	0.179
		審判(福島・重村)		観客 711人

◆ 11月6日(日) 男子
沖繩・21世紀の森体育館

大同特殊鋼 7勝1分1敗	33 (16-11 / 17-13)	24	琉球 コラソン 4勝1分4敗
K 田中 伊計 2/2 0/0 杉山 内田 0/0 5/7 野村 村山 4/6 2/4 藤江 赤塚 1/2 0/0 石橋 福田 1/4 2/2 加藤 大和田 0/0 4/5 久保龍 牧山村 4/6 2/2 平子 田村 K K 久保侑 松信 2/2 1/2 池辺 石川 1/1 3/3 千々波 名嘉 3/3 1/1 下村 連 2/3 2/2 6/10 東江 石田 K <0/2> 0/1 上原 水野 0/0 3/4 朴重奎 三村 1/1 2/2 杉本 趙顯章 3/7			

2/2	31/43	6(FPP)9	24/37	0/0
0.000	0/0	田中	5/22	0.227
0.273	9/33	久保侑	1/15	0.067
0.273	9/33	(GK)	6/37	0.162
		審判(河合・臼井)		観客 968人

第8回チャレンジ・ディビジョン

第8回チャレンジ・ディビジョンは11月5、6日に両ブロックとも2試合が行われ、Aブロックはトヨタ自動車が全勝のHONDAに24-16と快勝し、HC春日井、HC岐阜を含めた上位4チームが僅差で競り合う大混戦の様相を呈してきた。BブロックはHC和歌山が2連勝、HC同志社も初戦を勝利した。

〈Bブロック〉
11月5日和歌山・紀の川市民体育館
HC同志社 27 (13-12 / 14-13) 25 八光自動車工業
HC和歌山 25 (9-11 / 16-9) 20 SOCIO OSAKA

〈Aブロック〉
11月6日愛知・トヨタ車体吉原アリーナ
HC岐阜 29 (13-4 / 16-11) 15 同朋クラブ
トヨタ自動車 24 (12-9 / 12-7) 16 HONDA

男女個人ランキング 第8週終了現在

《男子》

《女子》

得点王

1 東江雄斗 (大同特殊鋼)	66点 (9試合)	1 笠木美希 (広島メイプルレッズ)	43点 (9試合)
2 趙顯章 (琉球コラソン)	58点 (9試合)	2 横嶋彩 (北國銀行)	39点 (8試合)
3 藤坂知輝 (北陸電力)	53点 (9試合)	3 吉田起子 (オムロン)	37点 (8試合)
4 石川出 (琉球コラソン)	51点 (9試合)	4 高山智恵 (広島メイプルレッズ)	33点 (9試合)
5 小塩豪紀 (豊田合成)	48点 (9試合)	5 池原綾香 (三重バイオレットアイリス)	32点 (9試合)
6 藤本純季 (トヨタ車体)	45点 (9試合)	6 河田知美 (北國銀行)	31点 (8試合)
6 山田隼也 (トヨタ東日本)	45点 (8試合)	7 多田仁美 (三重バイオレットアイリス)	30点 (9試合)
8 渡部仁 (トヨタ車体)	42点 (9試合)	8 松尾祐依 (オムロン)	28点 (8試合)
8 玉井宏章 (トヨタ東日本)	42点 (8試合)	8 川村杏奈 (ソニーセミコンダクタ)	28点 (8試合)
8 池上直輝 (北陸電力)	42点 (9試合)	10 藤田明日香 (ソニーセミコンダクタ)	27点 (8試合)
		10 高宮咲 (H C 名古屋)	27点 (9試合)
		10 水谷百香 (H C 名古屋)	27点 (9試合)

フィールド得点

1 趙顯章 (琉球コラソン)	58点 (9試合)	1 高山智恵 (広島メイプルレッズ)	33点 (9試合)
2 東江雄斗 (大同特殊鋼)	57点 (9試合)	1 笠木美希 (広島メイプルレッズ)	33点 (9試合)
3 藤坂知輝 (北陸電力)	53点 (9試合)	3 池原綾香 (三重バイオレットアイリス)	32点 (9試合)
4 石川出 (琉球コラソン)	51点 (9試合)	4 河田知美 (北國銀行)	31点 (8試合)
5 小塩豪紀 (豊田合成)	48点 (9試合)	5 横嶋彩 (北國銀行)	28点 (8試合)
6 山田隼也 (トヨタ東日本)	45点 (8試合)	5 川村杏奈 (ソニーセミコンダクタ)	28点 (8試合)
7 池上直輝 (北陸電力)	42点 (9試合)	7 多田仁美 (三重バイオレットアイリス)	27点 (9試合)
8 玉井宏章 (トヨタ東日本)	40点 (8試合)	8 鯨場雅予 (北國銀行)	26点 (8試合)
9 渡部仁 (トヨタ車体)	39点 (9試合)	9 澤田英里 (三重バイオレットアイリス)	25点 (9試合)
10 高智海吏 (トヨタ車体)	37点 (9試合)	9 澤田智美 (オムロン)	25点 (8試合)
		9 田中茜 (飛騨高山ブラックブルズ岐阜)	25点 (9試合)
		9 松尾祐依 (オムロン)	25点 (8試合)
		9 吉田起子 (オムロン)	25点 (8試合)
		9 福井美樹 (H C 名古屋)	25点 (9試合)

シュート率

(フィールド得点ベスト10を対象)

1 渡部仁 (トヨタ車体)	39点/ 49射 0.796	1 河嶋英里 (三重バイオレットアイリス)	25点/ 36射 0.694
2 高智海吏 (トヨタ車体)	37点/ 56射 0.661	2 澤田智美 (オムロン)	25点/ 38射 0.658
3 山田隼也 (トヨタ東日本)	45点/ 71射 0.634	3 田中茜 (飛騨高山ブラックブルズ岐阜)	25点/ 39射 0.641
4 藤坂知輝 (北陸電力)	53点/ 89射 0.596	4 池原綾香 (三重バイオレットアイリス)	32点/ 51射 0.627
5 東江雄斗 (大同特殊鋼)	57点/ 96射 0.594	5 河田知美 (北國銀行)	31点/ 50射 0.620
6 石川出 (琉球コラソン)	51点/ 87射 0.586	6 鯨場雅予 (北國銀行)	26点/ 42射 0.619
7 玉井宏章 (トヨタ東日本)	40点/ 71射 0.563	7 横嶋彩 (北國銀行)	28点/ 61射 0.459
8 小塩豪紀 (豊田合成)	48点/ 87射 0.552	8 高山智恵 (広島メイプルレッズ)	33点/ 74射 0.446
9 趙顯章 (琉球コラソン)	58点/ 111射 0.523	9 松尾祐依 (オムロン)	25点/ 58射 0.431
10 池上直輝 (北陸電力)	42点/ 98射 0.429	10 川村杏奈 (ソニーセミコンダクタ)	28点/ 66射 0.424
		11 吉田起子 (オムロン)	25点/ 59射 0.424
		12 多田仁美 (三重バイオレットアイリス)	27点/ 68射 0.397
		13 笠木美希 (広島メイプルレッズ)	33点/ 94射 0.351
		14 福井美樹 (H C 名古屋)	25点/ 85射 0.294

7mスロー得点

1 鈴木濟 (トヨタ紡織九州)	19点 (9試合)	1 吉田起子 (オムロン)	12点 (8試合)
2 連基徳 (琉球コラソン)	12点 (9試合)	2 横嶋彩 (北國銀行)	11点 (8試合)
2 藤本純季 (トヨタ車体)	12点 (9試合)	2 加藤夕貴 (三重バイオレットアイリス)	11点 (9試合)
4 東江太輝 (湧永製薬)	10点 (9試合)	4 笠木美希 (広島メイプルレッズ)	10点 (9試合)
5 吉田翔太 (トヨタ東日本)	9点 (8試合)	5 原希美 (三重バイオレットアイリス)	9点 (8試合)
5 東江雄斗 (大同特殊鋼)	9点 (9試合)	6 金恩恵 (飛騨高山ブラックブルズ岐阜)	7点 (9試合)
		6 水谷百香 (H C 名古屋)	7点 (9試合)

シュート阻止率

(フィールドシュートを受けた数が、男子9位・女子7位以内のGKが対象)

1 岩下祐太 (トヨタ紡織九州)	94本/ 243射 0.387	1 寺田三友紀 (北國銀行)	116本/ 225射 0.516
2 木村昌文 (大崎電気)	109本/ 301射 0.362	2 板野陽 (広島メイプルレッズ)	139本/ 306射 0.454
3 甲斐昭人 (トヨタ車体)	99本/ 276射 0.359	3 山根エレナ (三重バイオレットアイリス)	80本/ 177射 0.452
4 藤田東吾 (豊田合成)	101本/ 293射 0.345	4 飛田季実子 (ソニーセミコンダクタ)	74本/ 169射 0.438
5 久保侑生 (大同特殊鋼)	106本/ 311射 0.341	5 山中絵里奈 (オムロン)	75本/ 179射 0.419
6 志水村孝行 (湧永製薬)	88本/ 263射 0.335	6 田口舞 (飛騨高山ブラックブルズ岐阜)	118本/ 290射 0.407
7 田村卓勝 (琉球コラソン)	75本/ 232射 0.323	7 瀧澤瞳子 (H C 名古屋)	66本/ 164射 0.402
8 関口勝志 (トヨタ東日本)	76本/ 257射 0.296		
9 岩永龍哉 (北陸電力)	84本/ 290射 0.290		

7mスロー阻止率

(7mスローを受けた数が、チームの試合数以上のGKが対象)

1 田中雄大 (大同特殊鋼)	3本/ 9射 0.333	1 瀧澤瞳子 (H C 名古屋)	4本/ 10射 0.400
2 松永昌幸 (トヨタ車体)	4本/ 13射 0.308	2 宮川裕美 (オムロン)	5本/ 15射 0.333
3 岩永龍哉 (北陸電力)	3本/ 10射 0.300	3 山根エレナ (三重バイオレットアイリス)	2本/ 9射 0.222
4 藤戸介 (豊田合成)	4本/ 16射 0.250	4 板野陽 (広島メイプルレッズ)	3本/ 24射 0.125
5 下野隆雄 (トヨタ紡織九州)	4本/ 21射 0.190	5 網谷涼子 (ソニーセミコンダクタ)	1本/ 9射 0.111

第41回日本ハンドボールリーグ成績表

第8週第3日目終了 11月6日

順位	男子	大同特殊鋼	トヨタ車体	大崎電気	湧永製薬	豊田合成	琉球コラソン	トヨタ自動車東日本	トヨタ紡織九州	北陸電力	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	大同特殊鋼		27 ○ 22	21 ● 28	20 △ 20	28 ○ 25	31 33 ○ ○ 30 24	27 ○ 26	32 ○ 24	28 ○ 18	9	7	1	1	15	247	217	30
2	トヨタ車体	22 ● 27		23 ● 30	29 ○ 24	29 ○ 27	37 ○ 29	30 ○ 24	39 32 ○ ○ 26 24	28 ○ 24	9	7	0	2	14	269	235	34
3	大崎電気	28 ○ 21	30 ○ 23		24 21 △ ● 24 33	27 ● 30	26 ○ 21	29 ○ 23	24 ○ 19	36 ○ 31	9	6	1	2	13	245	225	20
4	湧永製薬	20 △ 20	24 ● 29	24 33 △ ○ 24 21		30 ○ 24	23 ● 34	25 ○ 24	24 ○ 23	26 ○ 25	9	5	2	2	12	229	224	5
5	豊田合成	25 ● 28	27 ● 29	30 ○ 27	24 ● 30		27 ● 30	33 ○ 25	27 ○ 19	27 27 ○ ○ 22 22	9	5	0	4	10	247	232	15
6	琉球コラソン	30 24 ● ● 31 33	29 ● 37	21 ● 26	34 ○ 23	30 ○ 27		31 △ 31	28 ○ 24	29 ○ 26	9	4	1	4	9	256	258	-2
7	トヨタ自動車東日本	26 ● 27	24 ● 30	23 ● 29	24 ● 25	25 ● 33	31 △ 31		31 ○ 20	31 ○ 21	8	2	1	5	5	215	216	-1
8	トヨタ紡織九州	24 ● 32	26 24 ● ● 39 32	19 ● 24	23 ● 24	19 ● 27	24 ● 28	20 ● 31		27 ○ 20	9	1	0	8	2	206	257	-51
9	北陸電力	18 ● 28	24 ● 28	31 ● 36	25 ● 26	22 22 ● ● 27 27	26 ● 29	21 ● 31	20 ● 27		9	0	0	9	0	209	259	-50

順位	女子	北國銀行	オムロン	三重バイオレットアイリス	広島メイプルレッズ	ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング	HC名古屋	飛騨高山ブラックブルズ岐阜	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	北國銀行		26 ○ 20	30 29 ○ ○ 19 13	24 ○ 18	30 ○ 15	27 ○ 16	29 23 ○ ○ 14 15	8	8	0	0	16	218	130	88
2	オムロン	20 ● 26		24 ○ 17	28 16 ○ ● 21 17	20 ○ 15	25 28 ○ ○ 17 16	17 ○ 16	8	6	0	2	12	178	145	33
3	三重バイオレットアイリス	19 13 ● ● 30 29	17 ● 24		29 20 ○ ● 13 25	23 24 ○ ○ 19 18	23 ○ 19	21 ○ 16	9	5	0	4	10	189	193	-4
4	広島メイプルレッズ	18 ● 24	21 17 ● ○ 28 16	13 25 ● ○ 29 20		15 ● 24	20 28 ○ ○ 16 16	21 ○ 16	9	5	0	4	10	178	189	-11
5	ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング	15 ● 30	15 ● 20	19 18 ● ● 23 24	24 ○ 15		27 ○ 20	16 21 ○ ○ 14 19	8	4	0	4	8	155	165	-10
6	HC名古屋	16 ● 27	17 16 ● ● 25 28	19 ● 23	16 16 ● ● 20 28	20 ● 27		18 20 ○ ○ 15 17	9	2	0	7	4	158	210	-52
7	飛騨高山ブラックブルズ岐阜	14 15 ● ● 29 23	16 ● 17	16 ● 21	16 ● 21	14 19 ● ● 16 21	15 17 ● ● 18 20		9	0	0	9	0	142	186	-44

※この星取り表は、シーズン途中は試合数に関係なく、仮の順位で並び替えてあります。

同勝点の場合は、1. 対戦間勝点 2. 対戦間得失点差 3. 総得失点差 4. 総得点 の多い順で順位付けしています。